

日本芸能近代化 10周年記念公演

虎の門教育館

日本の古典芸能である音楽、劇、舞踊、能等を永遠に伝えて国民大衆の協賛を得べく毎年晩秋の候に虎の門教育館で開催される日本芸能近代化公演の第十回記念会は、去る十二月三日昼夜二回興行で公開され頗る盛況であった。演じ物は、舞踊「寿式三番叟」。詩舞劇「会津の炎」で鶯風会連の出演。舞踊劇竹取物語「かぐや姫」数場で華やかな場面で観客を喜ばせた。

広瀬圭穂女師が 三越名人会出演

東京女流琵琶の名星で書道特選組の大家であり、吟詠界の名花である広瀬圭穂女史は、十一月五日三越劇場で開催の邦楽名人会へ出演、琵琶「経正」を演奏し好評を受けた。

山田美喜子師の 等美会30年大会

お等の名人宮城道雄師逝いて二十三年、故師門下の逸才で等曲の

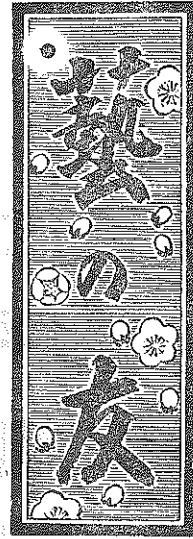
非売品

編集発行者 鈴木啓士

東京都練馬区豊玉五ノ二

電話(九九一)〇三六三番

芸の友社



集刊特号
一月

新年の辞

昭和の皇代五十三年を送り致に五十四巳未の新年を迎え、新羅万象改まり、奇哉沐浴して天地神明を拝し、國家の繁榮と世界の平和を祈り、崇祖の御靈にぬがづきて家内の安泰と健康を祈願し、芸の友愛読者各位の御健勝で御多幸を念願し、芸道の隆昌を祝福して先は年頭の御慶詞御挨拶を申し上げます。

昨年の干支は午で陽気に華やかな性の動物であったが、今年未(羊)の年で、人に愛され柔らかい愛嬌ある性格の動物で、その身に纏う毛は悉く毛織物の資料となり世界の人類を益し感謝されている。されば今年の芸能界は此の未(羊)の如く大衆より愛され、支援されて発展向上の幸運の年と推察される。さりながら幸運は努力せずして獲得は至難である。常に大衆の支持線上に立つ芸能家は、礼儀を正し、信義を守り、謙譲を

大家と名高い山田美喜子女史は恩師の二十三年追善と、等美会創立三十周年を記念し演奏大会を十二月十日正午より第一生命ホールに於て開催され多くの曲を上演し牙技好評で極めて盛況であった。上演曲中琵琶と等との合奏もあつたが、琵琶は鶴田錦史名人の推挙により大阪の筑前琵琶の名人山崎旭幸女師の指導を受け、自らの練磨と工夫で琴との合奏曲を創案されたのである。山田師は宮城社直門の大師範の名匠である。

協会の定例研究会

日本琵琶協会の定例研究会は十二月十日午後一時より四時まで文京区向丘二丁目浄心寺で開き、薩摩派佐藤湖春、筑前派内田旭章、錦心流山下晴楓、錦派木原綾子の四氏の演奏あり、これに就て協会副会長金田一春彦文学博士の講話あり、終つて懇親会を開き交歓して散会した。

薩摩琵琶の名人

安田幸吉翁急逝

鹿児島市の薩摩琵琶同好会では市民文化祭に協賛し十一月十九日市民会館に於て琵琶演奏会を催し

愛好市民多教参会傾聴中の午後五時半頃、舞台で出演「錦の御旗」曲演奏中の名人安田幸吉師が突然卒倒したので全員騒立ちとなり手を尽されたが楽器を抱えた儘遂に急逝された。享年七十九歳。実に惜しい巨匠である。密葬後葬儀並に告別式は同月二十二日仏式に依り大中禅寺に於て執行された。

に謹んで敬悼し御冥福を祈る。
大塚岳峻氏死去
薩摩琵琶正統会員大塚岳峻氏は十一月二十日死去、二十一日告別式を自宅で行った。

筑前琵琶製作 三田村 琵琶糸

三田村 琵琶糸
東京都渋谷区神山町八番地一
NHK放送センター西口前
三田村楽器店
電話 渋谷 六八二二番

浅野晴風師逝去

薩調物語琵琶を創案して錦心流一線を画し、安壮な芸風で名声を揚げた東京の浅野晴風師は、二十数年前に脳溢血で卒倒し治療の結果回復し、再び芸界で活躍されたこと二十年、気骨な大家で高名であったが去る十一月十九日旧病再発し二十三日入院されたが二十六日午前十時半遂に長逝された。享年七十二歳。真に惜しい名匠であった。葬儀は二十八日正午に中野区の慈眼寺で行われた。茲

精密部品加工業(腕時計部品) 製造販売
ネクタイ整形具(タイフレンド)
平井精密工業 有限会社
本社 所沢市日吉町17-13 電 0429 (22) 3175
工場 所沢市荒橋 218 電 0429 (22) 3660
社長 平井 円吉(洲誠)

最古の傳統と最高の技術
石田琵琶店 専門製作
薩摩琵琶 附属品一式
劇業明治十一年
東京都港区虎ノ門三ノ八ノ四
電話 〇三六六五五八
地下鉄虎ノ門バス明船町下車

筑前琵琶 謹製
各種附属品
桑田芝山
東京都大田区萩中3丁目24番地 〒144
電話 03 (743) 0068 番
(夜間) 03 (741) 2697 番

新作琵琶歌

北条政子(其一)

曾我龍城作

草深き伊豆の里にも時来れば、女一筋恋の花、烈しく燃えて実を結ぶ、これぞ北条名は政子。父の怒りをよそにして、嫁ぐ人生その前途、希望か不安か分かぬとも、ともかくにも喜(よろこ)びの、叶いし心はつむのみ。流人頼朝遂に起ち、石橋山に白旗(しらばた)を、翻(ひるが)えせども打敗れ、土肥実平と海路(うな)じ)越え、安房(あわ)へ遁(のが)るる痛ましき。この時政子は、大姫(おおひめ)と、伊豆山権現に潜(ひそ)みしが、頼朝脱出の報せ受け、眉(まゆ)開きつつも此処を去り、秋谷(あきや)の

田中之雄青年が 巴里音楽祭出演

フランスの首都パリの音楽祭が十一月十日から開催されている。此の行事に日本から琵琶の名人鶴田錦史師が尺八の大家横山勝也師と組んで出演が決定していたが、鶴田師が高血圧で入院されたので急に同師門下若手の逸才田中之雄氏が代理として渡仏出演され、十一月二十八日迄連日数回出演で頗る好評で大人気を受けた。

新年 賀 謹

鶴田錦史
〒136 東京都江東区亀戸三ノ九ノ一九
電話 〇三六〇〇二五三番

日米加吟詠連盟
日本国風流詩吟
宗家 雨宮国風
〒231 横浜市中区弥生町三ノ三〇
電話 〇四五四 三三五八・三三九九番

笹川鎮江
旭風
〒112 東京都文京区千石二丁目三ノ一三
電話 〇三六〇〇七三二番

新年 賀 謹

筑前琵琶

日本橘会

家元 橘 旭宗

事務局

〒152 東京都目黒区目黒一ノ三ノ三一
電話(三〇三)三〇三三
〒444 岡崎市福寿町七七
電話(五六)四四五七番

大和流琵琶吟宗家

山崎光掾

筑前琵琶橘会宗範

山崎旭萃

〒569 大阪府高槻市宮田町一ノ六ノ五
電話(七三六)三二五九番

筑前琵琶橘会

大坪旭邦

〒802 北九州市小倉北区馬借一ノ四ノ五
電話(〇三三)八三四〇番

詩吟朗詠錦城流宗家
詩吟朗詠錦城会々長

山元錦城

他役員一同

〒166 東京都杉並区成田西一ノ六ノ三
電話(三三三)六二二二番

錦心流琵琶三浦蓮水後援会

会長 加藤弥三三

〒662 西宮市松原町九ノ八
電話(西宮)三二二番

蓮水会

三浦蓮水

〒662 西宮市羽衣町七ノ三四
電話(七六)五八八七番

筑前琵琶保存会

嶺派 嶺旭蝶

青山旭子

〒810 福岡市中央区春吉二ノ八ノ二
電話(〇九二)〇三二〇番

筑前琵琶橘会師範
詩吟朗詠錦城流宗範

夏秋旭芳
夏秋錦穂

〒857 佐世保市谷郷町四ノ一
電話(五五三)二二三四番

筑前琵琶

旭錦会

會員一同

〒166 東京都杉並区成田西一ノ六ノ三
電話(三三三)六二二二番

筑前琵琶

東京橘会

事務局 166 東京都杉並区成田西一ノ六ノ三
電話(三三三)六二二二番

新年 賀 謹

筑前琵琶
日本旭会長

斎藤旭章

〒102 東京都千代田区三番町三ノ二
電話(〇三三)三八二六番

筑前琵琶
宗家

橘旭翁

〒102 東京都千代田区三番町三ノ二
電話(〇三三)一三八七番

筑前琵琶旭会大師範

河野旭保

〒802 北九州市小倉北区馬借一ノ四ノ五
電話(〇三三)八三四〇番

筑前琵琶日本旭会

中村旭園

〒810 福岡市中央区今川二ノ七ノ六二
電話(〇三三)〇三七八番

筑前琵琶

柴田旭堂

宝塚歌劇

上原まり

〒651 神戸市灘合区上筒井通五ノ四ノ二
電話(〇六)一一六一番

榑本旭風

〒537 大阪市東成区神路町三丁目八ノ六
電話(〇六)二七七八番

高千穂旭楓

〒544 大阪市生野区小路二ノ二六ノ二五
電話(〇六)六六七五番

筑前琵琶

山崎旭萃会

東京本部

〒160 東京都新宿区歌舞伎町二ノ九ノ二
電話(〇三三)九九二五番

錦鳳流琵琶
朱鳳流吟詠

宗家 入谷錦鳳

〒414 伊東市川奈光ガ丘一三三八
電話(〇五五)一七四九番

筑前琵琶日本旭会師範
大阪旭会・東大阪旭会
神戸旭会

旭山会
木庭旭山

〒557 大阪市西成区千本北二ノ三ノ三
電話(〇六)七九二二番

吟詠菊水流宗家
菅根悠光
吟舞菊水流宗家
永田咏澁

〒125 東京都葛飾区青戸六ノ三七ノ二
電話〇三〇三三〇七五番

宗家 針谷錦古

〒370-12 高崎市岩亀町局前二四七
電話〇三三(46)二〇〇六番

村上空城

〒010 秋田市金照寺山公園七ツ森
電話〇八八(32)九〇七・七九七番

鶴声流吟詠・琵琶・尺八道場
去来軒
山本鶴声

〒420 静岡市古庄四六〇ノ二〇
電話〇五二(61)五〇五〇番

琵琶芸術同志会
四絃富士会
錦心流琵琶秋声会

前田秋聲

本部 41 東京都品川区西五反田四ノ八ノ主
〒電話〇三〇四 八三三二二番
支部 京都・名古屋・湘南・東北

琵琶芸術同好会名古屋支部
錦心流琵琶秋声名古屋本部

会長 阿部秋子

〒454 名古屋市中川区中島新町中川住宅
〒ノ四〇 電話〇五二(88)〇二八四番

常に新鮮常に躍如たれ
而して枯淡亦典雅たれ (自訓)

伊集院牙城

〒370-06 群馬県邑楽町新中野八四ノ三
電話〇七六(8)一一〇〇番

錦心流輝派
輝水会本部

会主 輝錦凌

外会員一同

〒113 東京都文京区本郷五丁目三ノ三
電話 〇三三 七五七四番

吟詠 赤心流
琵琶 赤心流

家元 赤心流鶴翁

〒420 静岡市西草深町二一ノ二〇
電話〇五三(53)一四七一番

新春舞台開き

琵琶楽名流大会

一月廿六日正午
銀座ガスホール

日本琵琶楽協会主催の新春舞台開き名流琵琶演奏大会は、恒例により一月二十六日正午より銀座七丁目ガスホールにて開催される。出演者は東京並に神奈川、千葉、埼玉、群馬の近県在住会員と浜松、名古屋、福岡三市の名星で上演二十四曲(内合奏一曲)で薩摩、筑前、錦心、錦と各派の大家と精鋭が揃う大会である。特に今回は嘗て協会の公演は勿論二十数年間東京出演の無かった京都の講談琵琶の第一人者大野政月師が出演されるので興味を呼び期待されている。番組次の通り。

雨の的―三箇万里子▲曲垣平九郎▲都種苑▲壇の浦―藤内旭須美▲八甲田山―座間媛水▲粟津ヶ原―山下旭瑞▲城山―須田誠舟▲湯島の白梅―長谷川錦舟▲壇の浦悲曲―押川旭葉▲彰義隊―古家絃風▲田村邸名残の花―大野政月▲富樫の涙―石井桑水▲経正―広瀬圭穂▲羽衣―合奏水藤五郎、木原綾子、藤巻旭彰外三名▲北条政子―伊集院牙城▲勸進帳―小沢錦弥

▲加茂の宵月―小原旭成▲録の木―遠藤鶴東▲湖水乗切―石坂鶴朋▲名犬一文字―中村旭園▲薄陽江―八束一峰▲本詔寺―村木桜柳▲討入り前後―松崎洲陵▲大楠公―西村旭一声▲竹生島―小野鶴彦

第20回筑前琵琶
九州連合大会
五月小倉で開催

昭和五十四年の筑前琵琶旭会の全国大会は、九州の鹿児島旭会が司会となり鹿児島市にて開催されるが、それに先立ち九州連合大会が五月19、20の二日間北九州市小倉の井筒百貨店別館井筒屋文化ホールに於て、全九州の十六支部の代表参加し、小倉旭会が司会となり催されると。

一水会の錦心祭
琵琶大会は盛況

錦心流琵琶一水会本部主催の錦心祭演奏全国大会は、十一月四日九時半より銀座七丁目ガスホールで開催された。給谷六水会長就任初の大会であり快晴に恵まれて銀座は人出も多く会場も好調の入りであった。演奏は本部顧問の荻野

甲水、宮原理水両長老の「偲ぶ錦心」を序曲に幕あき、城東、いわき、岳南、武蔵野、富山各支部代表の順で出演され上演四十余曲夜の八時過ぎまで続く予定であるが今回は本部の大幹部の外は地方支部の大半が新顔で馴染が薄く、魅力の大家が少数でファンは飽気に誘われるのみ。緊張して傾聴された地方大家は平野鉦水、名古屋の丹野、埼玉の川本、城西の佐藤、神戸の三浦運水、酒田の土田、金沢の田中算水、小田原の鈴木謙水諸氏位で頗る低調で、筑前派の全国大会に比し失意した。

錦心流輝派
輝水会本部

会主 輝錦凌

外会員一同

〒113 東京都文京区本郷五丁目三ノ三
電話 〇三三 七五七四番

吟詠 赤心流
琵琶 赤心流

家元 赤心流鶴翁

〒420 静岡市西草深町二一ノ二〇
電話〇五三(53)一四七一番

東京橋会発表会

筑前琵琶日本橋会二代橋旭宗家元配下の東京橋会(会長二代目山元配下、副会長角田旭岑)では、元旭錦、副会長角田旭岑、十二月十四日午前十時より世田谷区代田の代田八幡宮参集所に於て発表演奏会を催し、日本橋会副会長に十月新任された大阪府高槻市在住の宗範山崎旭琴師を筆頭に、東京橋会の山田、松村、押川、井坂、三柄、丸山、佐藤の八師範、膳場、城戸、金子、川喜多、野村、佐々木の諸名手並びに新会員数名出演番組が発表され本社にも郵送されて来た。

そのご挨拶文の中に「形式にとられず、自由のびのびと思いきり歌い、弾くなごやかな、そして家庭的な雰囲気をもっと」として温習発表会を行います」と述べられてあった。元来芸事は種々の流派があり、それを指導し司どるに宗家とか家元と言う制度がありその流れを汲む会員は、その型を崩して自身気ままの歌い方は許されぬのが芸能界の慣習であると察している。今回橋会はこの発表を見て奇異に感じたのでここに記載して置く。(編輯係)

この会の出演者番組名は、中村旭光、三善旭実、桜井旭扇、小島旭清、山下旭瑞、三柄旭鐘、山田旭芳、長谷川旭昌、押川旭葉、金子旭昭、青木旭久、野村旭橋、城戸旭濤、森旭晴、齊藤旭孝、川喜多旭麗、佐藤旭尚、佐藤旭天紅、松村旭奎、尾木旭悦、膳場旭電、佐々木旭皓、丸山旭壮、霞旭爽、井坂旭良、山崎旭琴。以上。

群馬県芸能界随一の大家者で、美声玉の名人と定評高い高崎市岩鼻町の吟詠錦古流宗家で、琵琶界の元老である針谷錦古師は、県内各所に支部や出張所を設け流派の普及拡張に専念され、国民思想の



(針谷錦古師)

柴田旭堂
山崎旭華
両師放送

関西琵琶界の巨星で名匠の誉れ高い神戸市の柴田旭堂女史と大阪府高槻市居住の山崎旭華女史は、十二月二十一日午後三時十分NHKより柴田(大高源吾)、山崎(鴨川の露)を放送し好評を受く。

謹賀新年
己未元旦

芸の友社
鈴木普士
電話 〇三三三番

53年の異色巨星

板倉旭富師

53年秋横浜で開催した旭会全国大会を、戦後最大の成果を収め得たのは実行委員長板倉師の傑出した御人格と高徳の致す所、正に斯界の巨星として敬称すべき紳士であり誠実一貫の礼節家として大衆の龜鑑である。

東京 辻 靖剛翁

琵琶芸道一筋で勲四等を受章された東京斯界の元老辻靖剛翁は、正に凡俗を脱した偉人である。一昨秋季は二度も歩行中転倒し入院されたのに、昨年は元氣回復し壯者を凌ぐ健康は不可思議である。目出たし目出たし。

福岡 嶺 旭蝶師

筑前琵琶界の風習に新風を吹き込まれた福岡の名匠旭蝶女師の昨春の独立宣言は、一世紀も続いた筑前本場の同好者を驚かせたと有り。邦芸は家元とか宗家制度なのに、それを脱して新作詩作曲で自由に斯道の発展向上に邁進とは女性だけに勇断に感動す。

新年賀

- 鶴派 鴻翔会 136 東京都江東区亀戸三ノ丸九電 電話 681 六四三二二番
友吉 鶴心 111 東京都台東区浅草一ノ二ノ六電 電話 844 四二五一番
石坂 鶴朋 334 川口市安行原二五三六ノ三電 電話 026(96)三二八一番
内山 鶴崇 062 札幌市豊平区中の島九条九丁目電 電話 011 八四七四番
立川 鶴祥 371 前橋市文京町三ノ六ノ一電 電話 027(21)九〇四三番
笹本 鶴宴 170 東京都豊島区巣鴨三ノ七ノ三電 電話 03 九七五二番
半田 鶴炎 半田 鶴朱 354 埼玉県富士見市上沢三ノ八ノ七電 電話 045(51)二七〇八番
田中 鶴旺 175 東京都板橋区成増五ノ二ノ六電 電話 03 七六二二番
馬場 鶴洲 144 東京都大田区下丸子二ノ七ノ三電 電話 03(79)五〇一五番

- 薩摩琵琶雲雀会 遠東 鶴東 280 千葉市登戸四ノ九ノ二電 電話 043(41)一九〇二番
薩摩琵琶 古家 絃風 124 東京都葛飾区立石ノ九ノ二電 電話 03 五七三九番
日本琵琶協作(日本絃研) 日本琵琶協会 正絃会 城山会 日本琵琶協会
柏木 篁道 125 東京都葛飾区鎌倉町四ノ九電 電話 03 一九四七番
正絃会・城山会 日本琵琶協会
根本 岳邦 367 埼玉県本庄市前原二ノ三ノ五電 電話 045(22)四九〇〇番
薩摩琵琶四明会 京都琵琶協会 日本琵琶協会
平井 春嶺 603 京都市北区平野宮西町六四電 電話 075 一四二二三番

横須賀 四絃富士会 事務所 横須賀市富士見町一ノ五一(土橋水方) 電話 046(22)二三六一番

琵琶洲楓会本部 事務所 156 東京都世田谷区八幡山 電話 03(33)三五五〇番
会長 大館美江子
理事 桑名洲聖
副理事長 荒川洲帆
常任理事 前田洲月
同 平井洲誠
同 松崎洲陵
同 稻垣洲玲
同 山田洲鳳
同 彼ノ矢洲友

四の絃

新年お目出度うと御祝詞を申し上げ御愛読者皆様の御健康と御多幸をお祈りし旧年来の御支援と御引立に對して御厚礼を申し上げます

▲昨年の筑前旭会と橋会と錦心流三派の全国大会が東京と横浜の近接二大都市で開催され各愛好家を充分楽しませてくれた関係役員各位へ心から深謝申し上げます ▲今年旭会全大は鹿児島市の鹿児島旭会が司会を催し、橋会は大阪で開催が決定している ▲旭会の全国大会と言えは全国各地よりの代表者が百余人が参加されるので司会側はその応待や設備に会員は転手古舞の多忙をする ▲健康者でも疲れを洩らすのに鹿児島旭会長さんは女性であり身障の方であるので一際心労の事とご同情します ▲増してや鹿児島は薩摩琵琶の本場であるから琵琶楽には深い御理解をお持ちの方が多しとは察するが流派が異なる点が司会者柿木旭利さんの社交性で補えるか大会成果の鍵となる ▲日本旭会本部会長 齊藤旭章、同名譽会長松岡旭岡、師範河先生の良き指導振りが興味ある点か ▲九州唯一人の大師範で淑徳の誉れ高い小倉旭会長河野旭保女史の情愛が如何に司会者を勇

新年賀

- 気つけるか一因となろう ▲昨秋横浜で開催の全国大会は執行委員長板倉旭富師が円満重厚で高貴な人格者の紳士であり司会長の小原旭成会長が利ヶ者だから素晴らしい人気が成功された ▲これは単に物質による成果でなく日常の言動が社会人を感動さす慈恵善根の種子となった結果だ ▲芸師家は常に衆人の注目の的となり人気渡世である ▲昨秋東京で催した橋会全国大会の折り同会専務理事で事務局長の堀田旭甲大師範が芸の友社長鈴木老人が病中を娘夫婦に扶けられたの会場入りに氣に任せて始終身辺に眼を配った ▲この暖かい気持ちこそ真の男の友情と言えもの で堀田師の生真面目の人となり表現して嬉しい ▲橋会が大正九年秋創立された当時の初代旭宗師の秘書兼相談役が角田旭田師範代である ▲角田師範代の夫人が角田旭女史で同会の大先輩であり現在は大師範で東京橋会の副会長となられた ▲地下に眠る旭田師も微笑されよう ▲それにしても功労者表彰は亡後より生前中に行つたら一段と光るであろう。

筑前 旭鴻会本部 会長 藤巻 旭鴻 〒171 東京都豊島区高松三ノ二二 電話 03 三三四四五番
藤巻 旭星 石田 旭呂
藤巻 旭陽 桑田 旭文
藤巻 旭彰 古川 旭冷
藤巻 旭祐 古川 旭神
藤巻 旭恵 柴田 旭容
藤巻 真一 東野 旭枝
藤巻 典子 清田 旭茜
藤巻 加奈子 井上 旭照
南崎 旭薫 大西 旭千恵
黒田 旭映 大西 旭好
林田 旭史 野口 旭游
内田 旭章 三条 旭秀
早山 旭苑 横山 旭季
藤巻 旭鴻後援会 中村 公則
会長 青柳 重道 173 東京都板橋区大山西町二四ノ一 電話 03 六二二五四番

全国大会成功して
慶びの新年迎えた

横浜 小原旭成師

昨秋十月横浜旭成師会、同市の県民ホールで開催された筑前琵琶旭成師全国大会は、十月七、八の両日の演奏大会が好天に恵まれて大入り満員の盛況で、二日間の入場



(小原旭成師)

者二千余人を算えた。こうした盛況は戦後珍らしい事で、先年門司市で開催した小倉門司両会司会の全国大会と並ぶ盛況で歴史を飾った。司会長小原旭成師の喜びも大きく、その余慶で迎えられた五十四年の新年は、ご健康で幸多いと祝福される。

箱根の紅葉探る

関東随一の紅葉の名所である天の峡で温泉郷で名高い箱根の紅葉は、今や真盛りで見頃であると知人よりのお知らせに、今春来臨血検症を発病し、電気療治を受けた六、七分通り快方に向った本社

の鈴木老社長は、英気を養う気晴しのためにと、池永療養所長と同夫人、千葉氏夫妻を帯同し十一月十二日午前十時半自動車出発、東名高速道路を御殿場へ一直線、ご殿場から乙女峠街道へ。頂上のレストランで休憩を兼ねて昼食を取り曇天で影薄いが富士山を眺めて写真撮影、此所の山際真赤な紅葉が先づ目につく。暫し休息して車中のとなり紅葉の名所千石原を通り、両翼に見る美しい紅葉は、真紅、薄赤、黄の色彩が他の緑樹の間に点在し、または並木となって目を惹きつけてくれ、言葉に尽きぬ絶景かなで、仙石原を過ぎて宿泊地の強羅の紅葉園に着いたのが午後二時半頃であった。少憩後賓客の池永ご夫妻と千葉夫婦は連れ立って強羅公園を見物に、此所は庭石の雄大と動物園と紅葉で知られる所である。小雨が降り出したので帰館し一同温泉に入湯し疲れをやすめた。乾盃を挙げてから夕食を楽しみ雑談にふけるが雨は益々降り頻り一向に止む気配はない。テレビを見たり再度の入浴をして十時近く就寝、翌朝六時一寸過ぎに目を覚ましたが雨は降り続けている。

朝八時が此家の朝食時なので打ち揃って食堂へ。此処で東京習界の名匠前田洲月女史と彼ノ矢洲友氏夫妻と朝の挨拶を交す。十一時前後に出発帰東を打合せたが、池永先生がトロソバを望まれたので管理主人の押川女史に頼んでトロソバを注文し十一時頃食堂で頂く事となりこれを食して出発と決めた。このため食堂入りし致して小田原百貨店の経営者神戸英次郎社長と計らずもお目にかかり会談中に池永治療所長を紹介した処、神戸社長が健康診断を申し込んだので急に診断を行った結果或る病因を発見し、神戸社長より大いに感謝され、十二時頃に立立、二の平彫刻の森先より道を湖尻に取り坂道を登る沿道は美しい紅葉のトンネルを過ぎる。声の湖を眺め紅葉の美に酔いつつ仙石原へ。乙女峠に差しかかる手前で一寸休憩し茶を一杯、雨は未だ止む様子もない。昨日と変わり雨の中の乙女峠を越して御殿場へ一直線。車中で昼食の握り飯を頬張り池永夫人に感謝した。車は東名高速道を東京へ走り厚木を経て海老名で乗車の儘少休止。車中で菓子や果物を食しつつ帰東を急ぐ午後三時二十分頃に恙なく帰宅。先づ喜びの茶を一杯。時に大相撲九州場所の二日目開始され幕下力士の取組みを見る。

箱根の紅葉探るは、上述の如く一日は曇り、一日は降雨にたたりしたが、思いもかけぬ知人数名とお逢いし、予想外の美景に恵まれて精神保養も出来、真に嬉しかったと申し上げる。

鶴田錦史師近況

現代琵琶鶴田の宗家で世界的楽壇の女王である東京の鶴田錦史女師は、高血圧で静養中であつたが



(鶴田錦史師)

十一月八日国電お茶の水駅東側の杏雲堂病院へ入院された。その後薬療法を受けたが変化なく同月末日退院し自宅で静養中である。

鈴木本社長病氣
御見舞来訪者芳名

芸の女社長鈴木普士老は、五十二年五月二十一日夜十一時に突然自宅で就寝中に脳血栓症に犯され半身不随の重態となり心配されたが、治療漸次快方へ向われ人手の扶けを受けて少しは歩行も出来る様になった。この間全国多くの皆様より御見舞の来訪または御見舞

品を御惠贈下さって感謝して居ります。前号報道者のあとの来訪者次の通り。(敬称略)
高田栄水、輝立枝、角田旭尊、佐伯旭瑛、木庭旭山、齊藤松風、三浦蓮水、松野葉雲、田中旭千栄、針谷錦吉、大野皎月、彼ノ矢洲友、大津旭紅、尾山旭瑞常、石井桑水、平井洲誠、大坪旭邦、高橋藤水。

柴田旭堂師訪台

神戸琵琶界の名人、女流の柴田旭堂さんは、亡父の遺跡を偲んで旭成師全国大会後に台湾を訪問してその行跡を廻り親恩を感謝された。また旭堂会員の若手数名は、神戸新聞の「なべの会」や古典芸能の会へ出演で忙しい送日である

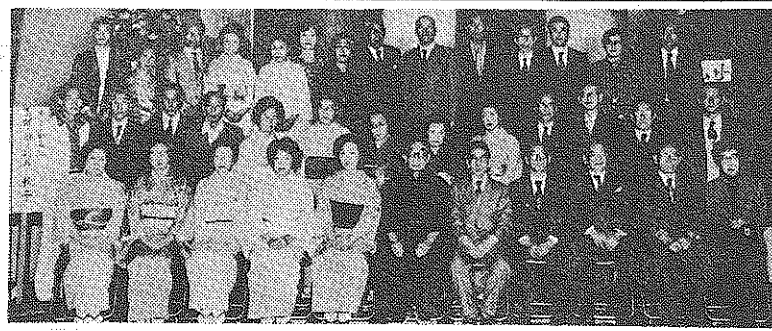
正絃会の演奏会

東京の薩摩琵琶正絃会は、毎月第三日曜日を定例会とし愛宕山の料亭桑根にて午後一時より開催され、通常二十名前後の会員が出演される。十一月六日開き、十二月は十七日に催される。出演の主な名手は、辻靖剛、遠藤鶴東、栗原雨竹、古家松風、池野谷吟舂、伊集院牙城、柏木寛道、岡部錦蝶、濱川嵐舟、堀越素舟、正本溪舟の諸氏の外数名である。

<p>謹 新 年</p>	
<p>筑前琵琶橋会 日本橋会大師範 大和流琵琶吟宗範</p> <p>板谷旭邑</p> <p>730 広島市橋本町一〇ノ一五 電話 (21) 七五二二番</p>	<p>日本旭会 大師範 押田旭窈</p> <p>160 東京都新宿区三栄町一六 電話 四四九一 番 四六五四二番</p>
<p>筑前琵琶 望月啞江</p> <p>272 市川市東菅野四ノ八ノ二一 電話 (三三) 三六三六 (39) 一六九六</p>	<p>日本琵琶楽協会 事務所 105 東京都港区西新橋一ノ十一ノ七 電話 三三七八九 九三八九番</p> <p>副会長 吉川英史 副会長 金田一彦 理事 藤辻 旭 靖 剛 鴻</p>
<p>筑前琵琶 紅</p> <p>160 東京都新宿区三栄町十六(押田方) 電話 四四九一 番 四六五四二番</p>	<p>日本琵琶楽協会 事務所 105 東京都港区西新橋一ノ十一ノ七 電話 三三七八九 九三八九番</p> <p>副会長 須田誠舟</p>
<p>秋元旭晨 竹本旭将</p> <p>618 大阪府三島郡島本町桜井四ノ一八 電話 (七五) 五〇四三番</p> <p>583 大阪府羽曳野市植生野八五三ノ四 電話 (五八) 四四四九 番</p>	<p>薩摩古曲研究会 事務所 105 東京都港区西新橋一ノ十一ノ七 電話 三三七八九 九三八九番</p> <p>副会長 須田誠舟</p>
<p>石田琵琶店 四世石田不識</p> <p>105 東京都港区虎の門三ノ八ノ四 電話 三三七八九 九三八九番</p>	<p>薩摩正絃会 事務所 105 東京都港区西新橋一ノ十一ノ七 電話 三三七八九 九三八九番</p> <p>副会長 須田誠舟</p>
<p>錦都派琵琶 都錦穂</p> <p>113 外東京都文京区根津一ノ一五ノ二 電話 四四七〇 番 五七八八番</p>	<p>薩摩古曲研究会 事務所 105 東京都港区西新橋一ノ十一ノ七 電話 三三七八九 九三八九番</p> <p>副会長 須田誠舟</p>

謹賀新年			
<p>400 甲府市朝日三ノ一ノ一 電話(五三)(52)八五五七番</p> <p>近藤 錦秋</p> <p>錦心流琵琶輝派</p>	<p>145 東京都大田区南千束三ノ一七ノ七 電話(三三)七〇七〇番</p> <p>松田 静水</p> <p>錦心流琵琶</p>	<p>232 横浜市南区井土ヶ谷中町六二 電話(四三)六七七七番</p> <p>中谷 襄水</p> <p>錦心流琵琶教授</p>	<p>343 越谷市大成町一ノ三三九二 電話(四九)(82)二四二一、三番 研究室 台東区駒形一ノ一五番 スズセイビル六階 電話(三三)(84)代表二二二一</p> <p>鈴木 流泉</p> <p>日本琵琶振興会</p>
<p>274 船橋市高根台四ノ一五ノ四 電話(四三)(66)七九四〇番</p> <p>錦秀 木原 綾子</p> <p>他門下一同</p>	<p>113 東京都文京区湯島三ノ八ノ二 電話(三三)八三七七番</p> <p>奥田 医院 興</p> <p>錦琵琶</p>	<p>921 金沢市寺町四ノ十三ノ十六 電話(41)四四二九番</p> <p>水谷 充水</p> <p>錦心流琵琶</p>	<p>375 群馬県藤岡市古桜町乙三三六 電話(三七)(2)〇二三七番</p> <p>宗範 四方田 錦隆</p> <p>日本錦古流藤城会々々 タイチクレコード専属 全国朗吟文化協会常任理事</p>
<p>251 藤沢市鶴沼坂方岡二ノ一 電話(四六)(33)七八六七番</p> <p>秋山 錦賜</p> <p>錦心流琵琶、詩吟教室 一水会藤沢支部顧問</p>	<p>181 三鷹市井の頭三ノ一九ノ六 電話(三三)(43)七九六五番</p> <p>加藤 錦陽</p> <p>三鷹市芸術文化協会々々 三鷹市邦楽愛好会理事長 三鷹市日本舞踊同好会相談役 日本伝統芸能同好会編成部長</p>	<p>237 横須賀市船越町一ノ五〇 電話(四六)(6)三六七六番</p> <p>山田 幻水</p> <p>会長</p>	<p>930 富山市太田口通り一ノ六ノ三 電話代表(25)三七四一、三番</p> <p>田中 愛水</p> <p>一水会富山支部 北陸琵琶同好会</p>
<p>177 東京都練馬区高野台三ノ九ノ七 電話(三三)四〇六三番</p> <p>重田 玉袖</p> <p>薩調四絃千葉玉山会</p>	<p>152 東京都目黒区原町二ノ二ノ三 電話(三三)四四七三三番</p> <p>井上 雅翔</p> <p>琵琶詠雅翔曲</p>	<p>247 鎌倉市大船一ノ二四ノ一四 電話(四七)(46)二六六〇番</p> <p>斎藤 祥風</p> <p>日本祥風流詩吟本部</p>	<p>153 東京都目黒区上目黒三ノ四ノ五 電話(三三)〇六〇六番</p> <p>秋山 溪水</p> <p>錦心流琵琶</p>

**名古屋阿部秋子師
改名披露会の記念**



(写真説明)

名古屋琵琶界の人氣花玉勝水こと阿部久子女史は、一水会を脱して前田秋声師の秋声会に入り雅号も「秋子」と改名し其の披露公演を去る十月二十二日名古屋大須の中企業福祉館にて催し盛會を極めた。写真は当日の記念で(前列)右より大館美江子、武田恒水、土橋虎水、桑名洲聖、前田秋声、谷暉水、柴田旭堂、阿部秋子、中山鳳水、松浦秋翠、石河旭豊嗣。(中列)右より谷津壯水、橋谷岳陽、牧雨水、長谷川秋楓、山本紅香、前田夫人、兵藤敏紅、鬼頭春紅、今泉旭玲、梶田安治、山田秋峰、久保田秋鳳、岩永武義。(後列)右より谷津豊水、伊藤、小沢、岸本港水、西村、伊藤壘水、青山旭登、伊佐地旭勢、秋本、齊藤旭元、土井旭浄、丹野鮎水、前田絹水。

**三浦蓮水師の
琵琶詩吟舞大会**

関西に於ける錦心流琵琶の女王で詩吟界の名匠である西宮市夙川

西宮市民芸術祭
在住の三浦蓮水女師は、五十三年度西宮市民芸術祭参加を表明し十月二十九日正午より第十七回目の蓮水会琵琶と詩吟舞の演奏大会を夙川公民館松下ホールにて開催、一水会神戸支部、大阪支部も協賛され、また一水会本部会長長谷六

三浦蓮水会記念



(写真説明) 右より池沢葉枝、野上紫紅、森本芳岳、館谷六水、三浦蓮水、松野紫雲、木庭旭山、小川吟水、内田欽水、他は蓮水会々員その他。

水、大阪支部長小川吟水、大阪旭会筑前派の名匠木庭旭山女史も特

別贊助で出演され、天候にも恵まれて大人氣を呼び満員の盛況で飾り成果を取めた。開演は定時に蓮水会歌で開幕、詩吟、青柳流詩舞上演のあと蓮水門下六名の奥伝披露で本部館谷会長より免状が授与され、また会より六名へ花束が贈られて祝福された。

それより披露演奏に移り、高原柳水、田中珠水、木宮梅水、吉田秋水、村上湧水、滝沢花水の六氏が今日を晴れの大神演で満場の拍手を受け面目を施した。次は招待吟で小学生の少年等数番と岳風会員が出演、神戸支部会員の琵琶彈奏数曲でファンを楽ませ、この後吟舞「祝賀の詞」は吟を三浦蓮水会主、舞は神戸神武館長原義人氏で格調高い幽雅なもので満場を感動させ絶讃の拍手湧く。続いて蓮水後援会長加藤弥三三氏と顧問佐藤光司氏のご挨拶、祝電五十余通の披露があり少憩。更に招待吟数題のあと東京一水会本部館谷六水会長「敦盛」を演奏して琵琶の醍醐味を發揮し拍手湧く。大阪小川吟水氏と内田欽水氏の掛合連吟「舟弁慶」も呼吸合って好評。次が琵琶舞「母ときわ」は、絃と歌が会主三浦蓮水と川上麗水、舞は青柳一門で常盤、今若、乙若を勤めたが三者の所作が蓮水師の歌

と合って鮮やかな動きを見せ魅力深めた。このあと招待者の名吟数題についで大阪筑前派の名匠木庭旭山女史の「千代萩の政岡」の熟巧演で満員客を酔わしめ大拍手を受く。最後に蓮水会長で会主の三浦名人の「勸進帳」で、全力を捧げた大神演で錦心流の秘術を尽し、全聴衆只々恍惚となる。終演と同時に顧問松野紫雲先生が閉会のご挨拶を述べられ成功裡に目出度く解散す。

**故田辺蘇川、錦波
両師の追善法要**

錦心流より別派を創案し蘇川流宗家を名乗った名匠田辺蘇川師が逝去されて十三年、未亡人錦波師が忘年会の帰途交通事故で急逝されて早や七年、両師の御冥福を追祈して横浜の錦心流の名人中谷襄水師が昨秋東京で追悼琵琶會を催されたが、今回は田辺家と縁戚関係にある三味線の名匠岸屋三郎師川本氏と中谷師で法要を十二月十日横浜市花咲町の「叶家」に於て故師と深交の方のみを招き行った。当日の様子は次号へ。

新年 賀 謹

<p>筑前琵琶日本橋会師範 彦根旭城会 会長 林田旭城 252 彦根市中央六ノ一三番 電話(077)203226番</p>	<p>筑前琵琶橋会師範 詩吟朗詠錦城流大師範 佐伯旭瑛 (錦瑛)</p>	<p>筑前琵琶橋会 押川旭葉 250-04 神奈川県足柄下郡箱根町強羅 電話(046)22112番</p>	<p>筑前琵琶日本橋会師範 大和流琵琶吟奏 師範 安藤光鵬 158 東京都世田谷区東玉川町二ノ三 三ノ七 電話(03)481121番</p>	<p>筑前琵琶橋会師範 旭典会 小川旭典 490-01 一宮市浅井町大日比野三三〇 電話(056)28880番</p>	<p>筑前琵琶橋会師範 詩吟朗詠錦城流大師範 三栖旭鋒 (錦鋒)</p>	<p>筑前琵琶橋会 錦琵琶 村木桜柳 190 立川市高松町二ノ二ノ一三 電話(042)2452番</p>	<p>筑前琵琶橋会師範 久徳旭蘭 651 神戸市東灘区八幡通四丁目二ノ七 神戸区役所正門前久徳ビル五階 電話(078)211610番</p>	<p>筑前琵琶橋会 吟詠教授晴声会 会長 中村晴声 432 浜松市鹿谷町三七ノ一〇 電話(053)7660番</p>	<p>筑前琵琶橋会師範 大津旭紅 177 東京都練馬区下石神井四ノ九 電話(03)6666番</p>	<p>筑前琵琶日本橋会 横野旭鳳 553 大阪府福島区海老江四ノ二ノ二 笹岡方 電話(06)2973番</p>	<p>筑前琵琶日本橋会 尾山旭瑞常 558 大阪府住吉区帝塚山五ノ一ノ一 電話(06)670848番</p>	<p>筑前琵琶日本橋会師範 安倍旭静 146 東京都大田区下丸子二ノ八番 電話(03)3818番</p>	<p>筑前琵琶 会長 東野穂峰 106 東京都港区元麻布一ノ五ノ一 電話(03)7667番</p>	<p>琵琶講談 詩吟物語 教授と出演 大野皎月 618 京都府乙訓郡大山崎町高橋 電話(075)1067番</p>	<p>師範 富樫旭桂 673 明石市松が丘四丁目二ノ二 電話(078)8633番</p>	<p>筑前琵琶 事務所 171 東京都豊島区高松三ノ三 電話(03)3645番</p>
---	--	---	--	---	--	--	--	--	--	---	--	--	---	---	--	---

大入り満員の 洲楓会秋の会

巧者揃いで好評

錦心流中独特の芸風を示して大館派宗家となり、琵琶に美名を輝かした名人大館洲楓師の流れを汲む一門洲楓会本部は、遺子大館美江子史を会長として年二回の演奏大会を催し、会員一致して故師の芸風拡張に努力し、日本精神作興に尽瘁されている。同会秋の演奏大会は晩秋十一月十八日夕五時半より上野本牧亭で開き、天候に恵まれて大入り満員の盛況であり会員の皆様の顔も揃って明るくニコニコの晴れやかさであった。特にこの日は今年一月中旬より発病入院し重態を伝えられた平井洲誠さんが漸く全快して三日前に退院されて会場に姿を見せたので会場は一際華やかさを増し賑わった。

舞台は金屏風を背景に、左右に祝贈の大生花を配す。演奏は定時に桑名洲聖本都理事長の絃で、内田洲蓉さん歌の「菅公」を序奏に立花青真(月下の陣)、鶴岡洲船歌の(赤穂の落日)絃は稲垣洲玲で、音使い巧みな節調で拍手を浴びる。荒川洲博(本龍寺)の熱演で進境の著しさを示し拍手を呼ぶ。

欧州公演で好評 名匠・中村旭園師

舞踊琵琶で絶讚

九州一の大都福岡市がフランスのポルドー市と姉妹都市の縁を結んだので、福岡市では文化交流の第一陣使節として文化連盟団を十一月二十八日から十二月七日までポルドーに派遣された。その一行の中に筑前琵琶の名匠中村旭園女

史が加わり、中村師は門人一人と琵琶舞踊の古参流川崎市の花柳稲太郎師匠を同道され、ボ市で公演の際は「お嬢夫人」の曲を上演し、花柳師匠が最も得意の舞で美技を發揮し、旭園師の美声秀技と共に参列者を魅了し絶讚を受け成功して帰国されたとは喜ばしい。

山崎旭萃師転居

大阪府高槻市津之江町在住の筑前琵琶の名匠山崎旭萃女師は、十一月始め頃に同市宮田町一丁目六ノ五へ転居された。電話は0726(93)3159番

矢吹旭美津師の 三ツ和会演奏会

京都琵琶界で女流第一人者の定評ある名匠矢吹旭美津師の三ツ和会琵琶研究会では、十一月二十六日正午より安井神社金比羅会館に於て第六回演奏会を催し、会主矢吹旭美津師と会員二十名が各独奏で出演し発刺たる演技を披露して来聴の愛好家の拍手を浴び賑わった。

東京旭会演奏会

筑前琵琶東京旭会主催の演奏会が十一月十五日正午より日本橋第一証券ホールで開かれ、吉田旭明

神戸灘印刷所社長

山本旭泉氏の奇跡

神戸旭会の会員で灘印刷所の社長である旭泉こと山本方亀之助氏は、昭和四十七年八月末に脳出血で倒れ、昏睡状態六カ月も続いて立ち直り、目が覚めた時は「浦島太郎」の様だと奇跡的に感動された今も元気で業務に励んでいるとは珍らしい。氏は大阪で講談琵琶宗家として活躍し、琵琶史上に名声を輝かした故水也田吾州師の甥である。一家は子孫者に恵まれ繁栄は目出度し。

箱根温泉へ入湯

一泊の橋会有志

筑前琵琶橋会の全国大会が十月七日東京渋谷の東邦生命ホールで催された。その大会へ出演された地方より参加の名手中に、天下の名所である箱根の名湯で疲れを休めんものとの強羅の紅葉園を訪れたのは、名古屋の西村旭一声、前田旭城、一の宮の小川旭典、京都の矢吹旭美津、神戸の久徳旭蘭、鳥取の北村旭良の六大家と他六会員で、八日に訪問し一泊、翌九日に立湯帰宅された由。

新春 吉例
時 一月二十六日 十二時より
所 銀座ガスホール
主催 日本琵琶演奏大会
名流琵琶演奏大会

洲楓会の新年会

故名人大館洲楓師一門の洲楓会は、大館美江子史を会長に推し団結を固くして流派の発展に努めているが、新年交礼会は一月二十八日小岩の舌鼓で催すと。

